

「熱傷診療ガイドライン（改訂第3版）」の作成におけるCQ設定に対するパブリックコメント募集のお知らせ

日本熱傷学会では、学術委員会が中心となって検討を行い、2009年3月に「熱傷診療ガイドライン」を作成し、2015年3月に改訂第2版を作成した。改訂第2版が開示されて4年が経過した現在、新たな知見が加わった現状を考え、またこれまで含めることができなかった電撃傷・化学損傷などの特殊熱傷、鎮痛・鎮静、輸血、DVT対策、リハビリテーション、リエゾン・終末期・家族対応などの項目を追加し、2021年3月を目標に日本熱傷学会としてガイドラインを予定どおり改訂することとした。

今回作業を開始した改訂第3版作成の大方針は、以下の通りである。

- (1) CQ (Clinical Question) 設定というステップを踏みながらも、これまでの形式を踏襲し、臨床現場で使いやすいガイドラインを作成する。
- (2) ガイドライン作成の目的は、「本邦における熱傷初期診療の標準化」である。
- (3) 想定する使用者は、high-income countryとして十分な診療リソースを利用できる環境にある本邦における physician とする。
- (4) ガイドラインで扱う熱傷とは、概ね受傷後4週間以内、入院治療が必要な重症度とする。

この度、新たなステップとして導入するCQ設定にあたり、学術委員会としてCQ(案)を提示致し、日本熱傷学会会員の皆様より広くご意見を伺うこととしました。下記要領でパブリックコメントを募集致しますので、ご意見をお寄せください。

なお、第45回日本熱傷学会総会・学術集会の2日目(5月24日午前)に予定されています「学術委員会報告」において、今回のパブリックコメントで頂きましたご意見も含め、「熱傷診療ガイドライン（改訂第3版）」の作成についても議論を行う予定にしております。

■改訂第3版CQ(案) (PDF)

■募集期間：2019年4月22日(月)～5月8日(水)

■提出先：burn@shunkosha.com へメールでご提出ください。

件名を「CQパブリックコメント応募」として、本文のはじめにご所属、氏名を記載した上でご意見をお寄せ下さい。

2019年4月22日

日本熱傷学会学術委員会

委員長 佐々木淳一